

お知らせ

INFORMATION

No.2015-17
2015年4月
病体生理研究所

新規受託開始及び検査中止のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたのでご案内いたします。

なお、今回の受託に伴い下記の項目を中止させていただきます。

何卒、ご了承頂けますようお願い申し上げます。

敬具

記

【新規受託開始について】

◆ RAS 遺伝子変異解析 [16737]

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2015年4月20日（月）より

【検査の受付が中止となる項目】

◆ KRAS遺伝子codon12, 13変異解析 [17337] ...検査案内掲載P.83

《最終受付可能日》2015年4月30日（木）受付分まで

【新規項目情報】

項目名称	RAS 遺伝子変異解析
コード	16737
検体材料	未染標本スライド 5~10枚
保 存	室温
検査方法	PCR-rSSO 法
基準値	なし
所要日数	5~8日
実施料	2500点 (D004-2 悪性腫瘍組織検査「1」の「イ」) 2015年4月1日より適用
検査判断料	34点 (尿・糞便等検査)
留意事項	当該検査に供する組織片は必ず病理組織的に鏡検され、腫瘍組織の存在が確認されていることが受託の条件となります。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ●病理材料でRAS 遺伝子 (KRAS 遺伝子、NRAS 遺伝子ともに exon 2 codon 12, 13、exon 3 codon 59, 61、exon 4 codon 117, 146) の変異解析を目的としております。病理材料以外は受託できません。 ●未染標本スライド材料について 提出の際には、HE 染色標本により腫瘍細胞が確認されたホルマリン固定パラフィン包埋組織ブロックより 10μm厚さの連続切片にてスライド作成願います。作成した未染標本スライドはケースに入れ、室温にてご提出ください。 なお、病理検査材料は、組織のホルマリン固定により DNA が断片化されているため、固定液の種類や、固定時間といった保存状況、保存年数によっては、解析不可能なことがありますので、あらかじめご了承ください。他項目との重複依頼は避けてください

◆ RAS遺伝子変異解析

抗EGFR抗体薬のコンパニオン診断薬を用いた検査です。

RAS(KRAS/NRAS)遺伝子に変異がある大腸癌では、抗EGFR抗体薬の効果が期待できない知見が得られていることから、治療方針の検討や投与対象者選択のために事前にRAS遺伝子検査を実施する意義が浸透しています。これまでのKRAS検査での変異陽性率は約40%でしたが、RAS遺伝子検査では約50%となることが予想されています。治療方針の検討や投与対象者選択のための検査としてご使用ください。

以上